

項目	内容
開講年度	2019
科目コード	2017年度 カリキュラム: 027014 2011年度 カリキュラム: 021193
開講セメスター	春セメスター
科目名	2017年度カリキュラム:「異文化フィールドワークⅠ」(共通教養科目) 2011年度カリキュラム:「ファーストプログラム」(教養科目)
担当教員	近藤祐一(JDクラス)
履修の目安	第1セメスターまたは第2セメスター生、授業は日本語で行われるので英語基準生は日本語中級を終了していることが望ましい。
授業のねらい	この授業は海外での実習に取り組む「異文化オリエンテーリング」で、少人数のグループごとに自分たちの力で目的地を目指し、現地でアンケート調査などのリサーチ活動を行い、初歩的な調査法、グループ学修での学び方、異文化に対する感受性を養う。世界の言語、文化やその地域の人々との交流に興味を持ち、APUの国際的な学習環境やキャンパスライフを最大限に活用したいと考える学生に最適のプログラムである。
到達目標	1)APUで必要となるグループ学修の方法を身につける 2)APU在学中に多く接触する異文化状況に対し、自分なりの対応方法を考えることができるようになる 3)APU在学中に多く参加するであろう海外学修プログラムにおいて、学びの目標や自己成長の目標を立て、それを貫徹できるようになる 4)APUでの4年間の学びについて計画を立案し、それを実行するための手だてを考えることができる
授業方法	講義、グループディスカッション、グループ活動、グループプレゼンテーション
毎回の授業の概要	事前授業1・2: 授業オリエンテーション、リサーチ手法の理解
	事前授業3・4: 派遣地の概観・言語の理解、リサーチトピックの準備
	事前授業5・6・7・8: リサーチトピックの決定、リサーチの準備
	実習: フィールド実習、振り返りディスカッション
	事後授業 1・2: 全体振り返りディスカッション 事後授業 3・4: 調査結果グループプレゼンテーション
予習・復習の内容と分量	事前授業ではグループによる調査や発表の為の準備作業が多く求められる。また、リサーチの準備やグループ発表等、十分な復習/振り返り時間を取ることが必要となる。
成績評価方法	事前/事後授業への出席: 35%
	最終プレゼンテーション: 35%
	最終ジャーナル: 30%
多文化協働学修の実践方法	成績はP/Fによる。事前/事後授業を含め、すべてのガイダンスなどに参加すること。遅刻や欠席は認め 異文化を現地で現地の方々とのコミュニケーションや自分の観察結果を他の受講者と共有し討議することによって、異文化からどのように学ぶのかを学修する。
学生への要望事項	参加型のプログラムであるので、何事にも積極的に関わることが望まれる。
テキスト備考	特に使用しない
参考文献備考	
担当教員研究室電話番号	
担当教員E-mailアドレス	yuichi58@apu.ac.jp (近藤)
E-Book および 関連ページ	